

栽培情報



有機ミニトマト栽培、金丸農園では30年の経験でも今の気象状況は対応と判断が難しく、積極的に栽培に関する試験に取り組んでいます。「うまい」と言われる「美味しいトマト」作りに今年も挑戦しています。栽培に関し、おいしい訳、の報告をします。



ここでは冬の寒い時期に作ったモミガラ堆肥が主役です



手塩にかけ苗作りを春早い時期から行います



1株ずつ定植を37棟根気のいる作業を続けます。この写真は試験棟で、16種の苗と、栽培方法を変えた試験が行われます訪問の際その成果を確認して下さい



16種の苗が産地特性、栽培特性試験に使われます。



定植後の苗に、モミガラ堆肥を敷詰めたベッドができます。後は自家製ボカシを住処に撒きます。



モミガラベットの土を固めず、保湿の役割と微生物の住処となります

今年も美味しさに感動をいただけるトマトに期待します

有機南瓜作りの「樺みよい」を訪問しました



北海道の南、森町で「くりりん」を40ha栽培しています自慢の栽培方法は、ミネラルを中心に組立てた有機栽培です。39年もの長きに渡り南瓜一筋、糖度が30度にもなる製品作りを行っています。連作障害は発生した事は無く、高温キュリングに取り組む。中でも「黄金のかぼちゃ」は1玉 ？千円の化粧箱入り今年はそのペーストを活用した美味しい菓子作りをしたいと進めております。

名峰 駒ヶ岳を背景に広がる南瓜畑